

平成30年度事業報告

社会福祉法人 上市町社会福祉協議会

少子高齢化に加え、核家族化などの家族形態の変容、生活スタイルの多様化・個別化などにより社会構造が大きく変化しました。これにより、地域では、孤立、ひきこもり、不登校、児童・高齢者虐待、生活困窮など様々な社会問題が顕在化しています。

こうした中、当会では地域住民から寄せられる多様な地域生活課題を受け止め、地域住民・団体、サービス事業者、関係機関等と福祉ニーズを共有し、地域を基盤にして解決につなげる支援やその仕組みづくりに取り組みました。

I. とともに支え合う「ひと(組織)づくり」

町民一人ひとりが自分にあった方法で、自ら意欲的に、地域活動や支えあい活動に参加できる体制づくりを推進しました。

1. 「住民参加による地域福祉活動の充実」

(1) 気軽な居場所づくりの推進

- ① サロン活動の実施内容検討・開催
- ② 障害者施設とふれあいいいきいきサロン交流活動の促進
- ③ 世代間交流事業の実施
- ④ ふれあいラジオ体操 9地区 約74ヶ所で実施
7月27日 取材 天神町三区 富山新聞、Net3
- ⑤ 子どもから高齢者の合同サロンの開催

ふれあいいいきいきサロン事業(共同募金助成金事業)(表1参照)

実施地区 上市、音杉、弓庄、宮川、相ノ木、柿沢、南加積、白萩西部、白萩南部、大岩地区

実施内容 介護予防教室、健康教室、健康体操、異世代交流、料理講習、ウォーキング
レクリエーション、講話、会食等(74か所245回開催、延べ6,720人参加)

平成30年度サロン開催状況

(表1)

地区名	参加人数	回数	ヶ所数	実施地区(各町内公民館等)
上市	786	31	15	東町、上中町、新町、熊野町、鍵町、森元町、石浦町、旭町、幸町、柳町、西町、天神町一区、天神町二区、天神町三区、カミール
音杉	2,705	59	11	音杉、北島、湯上野、上法音寺、法音寺、横法音寺、大坪、稗田、正印・正印新・川原田、三日市、横法音寺
弓庄	378	25	4	横越、神田、和合、弓庄
宮川	640	40	13	若杉、森尻、江上、中江上、荒田、竹鼻、石仏、大永田、若杉新、中小泉、弥市、江又、劔町
相ノ木	620	13	11	上経田、放士ヶ瀬新、相ノ木新町、飯坂新、ひまわり台、下経田、久金、放士ヶ瀬、中青出、相ノ木会館、愛荒会館
柿沢	256	12	7	柿沢1区、柿沢2区、柿沢3区、柿沢4区、館、女川、新屋
南加積	613	36	6	南加積会館、山加積、広野新、広野、野島
白萩西部	335	10	3	白萩西部、湯崎野、堤谷
白萩南部	220	9	1	白萩南部
大岩	161	9	2	大岩、日石寺
白萩東部	6	1	1	中村
合計	6,720	245	74	

(2) 地区社協との連携強化

① 地区社協組織の活動支援

地区社協連絡会議及び先進地視察研修会の開催

(日程・主な協議題・出席人数)

4月23日 第3次上市町地域福祉活動計画の策定について

地域福祉懇談会の実施について・33人

6月18日 南加積地区社協活動紹介・報告者 南加積地区社協事務局長 廣田 むつ子氏

地域福祉懇談会の開催について・37人

8月20日 ケアネットチームアンケート調査報告書について

地域福祉懇談会開催状況及び地区別計画策定の取組みについて・37人

10月15日 熱中症に関する取組みについて

地区ごとの計画策定の取組みについて・34人

11月9日 先進地視察研修会(砺波市太田地区社会福祉協議会)・19人

ふれあいいいききサロン事業の実施状況、災害時に備えた地域の活動、外出支援の取組みを視察

12月17日 白萩西部地区社協活動紹介・白萩西部地区社協会長 小倉 滋充氏

福祉推進員の推薦について・37人

2月18日 白萩南部地区社協活動紹介・白萩南部地区社協事務局長 廣田 章氏

平成30年度事業報告書及び平成31年度事業計画書の提出について・36人

② 福祉課題の地区別把握と解決への取組み支援

③ 介護予防事業の実施

④ 福祉推進員の設置 99人設置

1月21日・福祉推進員研修会(福祉講演会に併せて開催)・46人

⑤ 命のバトン事業の実施(地域歳末たすけあい募金助成金事業)

各地区社協を中心に、命のバトンを継続設置しています。

⑥ 地区ごとの計画支援 (表2参照)

第3次地域福祉活動計画策定時で出された地域の福祉課題・生活課題について、解決に向けた取組みをするための説明会を開催し、引き続き地区ごとの計画策定に取り組みました。

地区ごとの計画策定のための懇談会開催状況

(表2)

地区社協	日時	場所	参加者	社協参加者
白萩西部	6月8日	白萩西部公民館	白萩西部地区 13人	会長、事務局2人
相ノ木・弓庄	6月19日	相ノ木会館	相ノ木地区 15人 弓庄地区 10人	会長、富山福祉短期大学准教授、県社協2人、福祉課1人、事務局3人
上市・音杉	6月20日	上市町生涯学習会館	上市地区 32人 音杉地区 17人	会長、富山福祉短大准教授、富山県社協2人、事務局3人
柿沢・大岩	6月21日	柿沢公民館	柿沢地区 21人 大岩地区 9人	会長、富山福祉短期大学准教授、県社協2人、事務局3人
宮川・南加積	6月25日	宮川公民館	宮川地区 35人 南加積地区 15人	会長、富山福祉短期大学准教授、県社協2人、福祉課1人、事務局3人
白萩南部	6月27日	白萩南部公民館	白萩南部地区 16人	会長、事務局2人
白萩東部	11月6日	高齢者宅1か所	白萩東部地区 5人	会長、事務局2人
宮川地区	11月25日	宮川公民館	宮川地区 40人	会長、事務局2人

上市地区	10月3日 11月28日	上市町生涯学習 会館	上市地区 上市地区	29人	会長、県社協1人、事務局3人
柿沢地区	2月14日	柿沢地区会館	柿沢地区	23人	事務局1人

※ 2地区社協合同で開催。

※ このほかに、各地区社協で「地区ごとの計画策定」に向けた懇談会が開催されています。

(3) ふれあい・コミュニティ・ケアネット21の推進

① 高齢者、障害者等の個別支援(ケアネット等)活動の推進

・地域総合福祉推進事業(実施地区:上市・音杉・弓庄・相ノ木・柿沢・南加積・宮川地区)

(ふれあい型)

実施地区社協を中心に、ア 活動調整連絡会の開催、イ 生活支援事業の実施(ふれあいいきいきサロン、世代間交流、介護予防事業を企画実施。)、ウ 他組織と連携した事業の実施及び人材リストの作成を行いました。

(ケアネット型)

ケアネットチームを編成し、一人ひとりに合った、ケース検討会、サービスプログラムの検討を行い個別の支援活動を行いました。(表3参照)

・地域福祉活動推進ネットワーク促進事業(実施地区:白萩西部・白萩南部・大岩・白萩東部地区)

実施地区社協を中心に、三世代交流事業・サロン・個別支援活動等を行いました。

② 個別支援活動研修会の開催

・医療・介護・福祉の専門職と地域の協力者との合同研修会の開催 12月17日

『生活支援・介護予防サービス体制整備事業』についての説明のあとグループワークで地区社協関係者と専門職が交流しました。

平成30年度地区別ケアネットチーム活動の内容

(表3)

	見守り・声かけ	話し相手	ゴミ出し	買い物代行	草むしり	除雪	外出付添	児童預かり	児童送迎	薬の受取	その他	合計
上市	7,628	3,048	290	81	20	28	82	0	0	276	342	11,795
音杉	6,083	1,685	212	78	14	9	53	0	0	2	133	8,269
弓庄	561	185	6	0	3	0	0	0	0	0	49	804
宮川	1,163	534	209	28	1	22	1	0	0	0	144	2,102
相ノ木	2,033	1,194	197	32	1	4	0	0	0	0	15	3,476
柿沢	498	572	18	2	1	10	11	0	0	0	55	1,167
南加積	1,558	1,023	9	0	0	6	320	1	0	3	33	2,953
合計	19,524	8,241	941	221	40	79	467	1	0	281	771	30,566

ケアネット利用者の状況(3月31日現在)(表4)

	高齢者	身体障害者	知的障害者	精神障害者	母子・父子世帯	その他	合計
人数	356	27	4	2	0	2	391

ケアネット地域支援体制の状況 チーム数 195チーム チーム参加実人数 322人

2. 「ボランティアの養成・支援」

(1) ボランティアセンターの活動強化

① ボランティアセンター運営委員会の開催・連絡調整を検討

② ボランティア活動相談 612件

③ ボランティアセンターへの登録促進 団体登録 50団体 1,798人

④ボランティア受入れ担当者連絡会の開催

⑤ボランティア連絡協議会活動との連携

ボラ連理事会 7回開催

11月12日 入善町ボランティア友の会視察・交流会・26人

○ボランティア基金の設置(積立額 2,124,689 円)

(2)生活支援を支えるボランティアの育成

①ボランティア養成事業の促進(共同募金助成金事業)

・施設ボランティア受入れ担当者・ボランティア情報交換会

施設紹介と情報交換 2月8日

参加者 地域福祉関係者、ボランティア、施設職員・56人

○傾聴ボランティア養成講座

6月19日 傾聴ボランティア「聴くちゃ〜つるぎ」設立総会

記念講演 富山国際大学子ども育成学部 教授 村上満氏 10人

2月26日 傾聴ボランティア養成講座

※(共同募金助成金事業)

○レクリエーション用具の貸出

ボッチャ 7件、輪投げ 1件、ペタンク 4件、高齢者疑似体験セット 1件

②視覚障害者の外出支援ボランティアのニーズ把握

③福祉ふれあいフェスティバルの実施内容検討・開催

8月30日 参加施設打合せ会

新川会、むつみの里、ワークハウス劔、山崎コンクリート工業、ボラ連 12人

9月21日 実行委員会

社協理事・監事、地区社協、福祉施設・団体、福祉教育推進委員会、民生委員児童委員協議会役員・
店舗責任者、ボランティアサポーター、ボランティア連絡協議会、出店・協力団体 38人

10月26日 前日準備 ・115人、

10月27日 当日準備 ・98人

10月27日 参加者(受付通過者) ・354人

内容:式典、ボランティア活動体験作文表彰式及び発表、アトラクション、ふれあい活動

④小中高生ボランティアスクールの実施内容検討・開催

参加施設打合せ会・反省会 6月8日、6月23日、8月30日

7月9日 実行委員会 ・20人

8月6日(上市町文化研修センター)

参加者 133人(障害者36人・児童・生徒60人・ボランティア11人・教員6人・施設職員等20人)

8月7日(立山寺から丸山総合公園へウォーキング・保健福祉総合センターふれあい活動)

参加者 184人(障害者36人・児童・生徒60人・ボランティア53人・教員6人・施設職員等29人)

⑤NPOへの支援と連携

(3)災害救援ボランティア等の養成

①要支援者の把握

○ 避難行動要支援者の把握

災害時の避難支援を希望する方に登録を呼びかけ、名簿として取りまとめたものを加除しました。

②災害救援ボランティアセンター立ち上げ訓練

・上市町災害救援ボランティア研修会

3月8日

内容:HUG(避難所運営ゲーム)を活用したグループワーク

講師 NPO 法人富山県防災士会 村崎正幸氏、北川勝氏・42人

③災害救援ボランティアネットワークの構築

④高齢者、障害者宅の除排雪支援

3. 「すべての世代を対象として福祉教育の推進」

(1) 地域における福祉教育の推進

①地域住民の福祉教育の推進

②福祉教育推進委員会の開催 6月11日・学校関係者、PTA、主任児童委員等20人

・小中高生ボランティアスクールについて

・ボランティア活動体験作文について

・ふれあいラジオ体操について他

③ボランティア活動オリジナル事業推進校の指定

・町社協が町内の全小中高校をボランティア活動オリジナル事業推進校に指定し、各学校ごとに特色ある活動に取り組みました。

④ボランティアサポーターの育成支援(8人)

ボランティアサポーター会議(6回開催)

ふれあいラジオ体操、災害ボランティア、ボランティアスクール、地区社協活動への協力について協議。ボランティア活動相談、地区社協活動(ふれあいきいきサロン、ケアネット活動)に協力

⑤ティーンボランティアサポーターの委嘱・(上市高校生・61人)

6月6日・ティーンボランティアサポーター研修会委嘱式、ボランティア基礎研修講義「ボランティア活動について」ボランティアサポーター 堀田重則氏

⑥福祉に関する感想文の募集

応募 小学生の部 27点、中高生の部 16点

作文審査会9月18日(審査員:学校関係者、福祉施設関係者、福祉関係者等7人)

受賞 金賞2点、銀賞4点、銅賞6点

⑦福祉講演会の開催

1月21日 演題「災害に備える～明日は我が身～」

NPO法人富山県防災士会理事長 小杉 邦夫 氏 ・154人

⑧福祉教育サポーターの育成

・福祉のまちづくりを推進するための活動を支援するための福祉教育サポーター修了者に、「福祉教育サポーター」に講演会、研修会の参加呼びかけました。

・福祉教育サポーター設置検討委員会の開催 1月29日

委員12人を委嘱し福祉教育サポーター設置事業の経緯と事業実施状況について報告しました。

II. 安心して暮らせる「地域(環境)づくり」

福祉に関する町民のニーズに的確に対応できるように、福祉サービスの総合的な提供体制の充実を図り、地域で安心して暮らすことができるように、生活環境の整備と思いやり溢れる環境づくりに努めました。

1. 「利用しやすい相談体制づくり」

(1) 小地域で対応できる相談支援体制づくり

役場福祉課、町民課、地域包括支援センター、かみいち総合病院、福祉施設等との連携により解決に向けた取り組みを行いました。

①相談事業実施機関との連携

- ②子育て相談との連携
 - ③地域医療連携室、家庭医療センターとの連携
 - ④行政・人権相談、消費・生活相談との連携
- (2) 困りごと・孤立等を防ぐ相談

(表5)

相談の種類	相談員	開設日	相談件数	備考
一般相談	社会福祉士・介護福祉士・介護支援専門員	平日 8:30～17:15	890 件	福祉サービス利用、生活、介護等
心配ごと相談	民生児童委員・中部厚生センター相談員	毎月第3水曜日 13:00～15:00	10 件	生活問題、経済的・心理的問題等
法律相談 (予約制)	弁護士	第2火曜日 9:00～11:00	40 件	土地・相続・扶養金銭貸借・賠償問題等
生活福祉資金貸付 相談	社会福祉士	平日 8:30～17:15	105 件	低所得、障害者、高齢者世帯等への貸付
結婚相談	結婚相談員 (相談員5人)	第2、第4火曜日 13:00～16:00	331 件 成立 8 件	結 婚
生活就労相談	東部生活自立支援センター相談員	毎月第2または 第3火曜日 10:00～11:30	相談者8人 (内継続支援2人)	健康、就労・定着支援、対人、家族関係、家計改善、債務等

○生活福祉資金の貸付

相談延件数(相談支援、連絡調整等) 105 件
 貸付中件数(貸付残高)9 件(2,429,067 円)
 総合支援資金1件 生活福祉資金 8 件 うち新規貸付福祉費 1 件

○婚活イベント事業の実施

9月29日 クッキング&パーティ お料理で恋活 つるぎふれあい館
 参加者 男性 20 人、女性 11 人 マッチング3組
 1月26日 ハッピーバレンタインパーティー2019 富山第1ホテル 1F コメドール
 参加者 男性 30 人、女性 13 人 マッチング4組

○生活困窮者自立支援事業の実施

生活就労相談、支援調整会議 各月1回 (富山県東部生活自立支援センターとの連携)
 30 年度相談受付・支援者 8 人 (内、継続支援 2 人)

2. 「住み慣れた地域で誰もが安心して生活するための福祉サービスの提供」

(1) 住民の強みを生かした自立支援の取組み

① 居宅介護支援事業の実施

ご本人、ご家族の思いを尊重し住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、介護支援専門員(専任3人)がケアプランを作成した。

居宅介護支援計画作成者数及び介護給付費(ケアプラン作成)

(表6)

		居宅介護支援		介護予防・日常生活支援総合事業	
		利用者数(人)	介護給付費(円)	利用者数(人)	受託料(円)
平成30年度	年間合計	1,185	13,680,450	32	136,300
	月平均	98.8	1,140,037	2.7	11,358
平成29年度	年間合計	1,276	14,750,270	35	156,500
	月平均	106.3	1,229,189	2.9	13,042

②訪問介護事業の実施

ホームヘルパー11人(常勤6人非常勤5人)により訪問介護活動を実施。資質向上に努めるとともに、法人本体事業の特性を活かし、介護サービスを通して地域とのつながりに努め、各関係機関と連携を密にしました。

○介護保険事業の実施

訪問介護事業の実施:要介護1~5の利用者宅を訪問し、身体介護や生活援助を提供しました。

介護予防・日常生活支援総合事業の実施:要支援1・2事業対象者の利用者宅を訪問し、利用者と一緒に家事を行い、自立を援助しました。

○障害福祉サービス事業の実施

障害者への居宅介護サービスを提供。職員の資質向上に努め、良質で安定した居宅介護を行いました。

③生活支援事業の実施

公的サービスでは対応することのできない多様なニーズに対応し、ホームヘルパーを派遣した。

訪問介護の年間利用実績(延べ人数)

単位:人 (表7)

	居宅介護	介護予防・日常生活支援総合事業	障害福祉サービス	生活支援事業
平成30年度	363	288	113	131
平成29年度	383	228	134	120

④理髪カットサービス実施のコーディネート (表8参照)

⑤生きがいデイサービス(おたっしや家・ミニデイサービス)事業の実施 (表8参照)

⑥配食サービス事業の実施 (表8参照)

(表8)

実施事業名	実施事業内容	利用者数等
④理髪・カットサービス事業	在宅理髪・カットサービス	高齢者・障害者等 0件(相談4件)
⑤生きがいデイサービス室管理事業		
(おたっしや家) (町指定管理事業)	毎週月~金曜日 5日実施 健康チェック、介護予防、レクリエーション、小学生との交流等	65歳以上の高齢者 延べ3,423人
ミニデイサービス事業 (町委託事業)	毎週木曜日 健康チェック、介護予防、入浴等	65歳以上の高齢者 延べ1,148人
⑥配食サービス事業 (町委託事業)	月2回、民生委員・ボランティア・食改等の協力により、配食・見守り等	ひとり暮らし高齢者等 延べ211人

利用者の内訳

単位:人 (表9)

		生きがいデイサービス室管理事業 おたっしや家 710円				ミニデイサービス事業 820円			
平成	月	開所日数	男	女	計	開所日数	男	女	計
30年度	合計	241	343	3,080	3423	48	2	1,146	1,148
	1日平均		1.4	12.8	14.2		0	23.9	23.9
29年度	合計	241	253	3,336	3,589	47	0	1,184	1,184
	1日平均		1.0	13.8	14.9		0	25.2	25.2

⑦介護予防・日常生活支援総合事業の実施への取組み

・生活支援・介護予防サービス体制整備推進協議体会議の開催(4回)

7月25日、11月21日、11月28日、3月19日 11月は大岩通りの場の視察研修を行いました。

・介護予防体操啓発活動

地域の団体・グループ等 15 か所で実施し通いの場(月 1 回～週 1 回開催)3 か所発足しました。

(2) 児童・子育て支援

- ①ファミリーサポートセンターのニーズ把握と開設準備を支援(学童含む)
- ②放課後児童対策事業(こどもの城、放課後児童クラブ、学校)との連携支援
- ③子育てサロンの開設支援
- ④安全パトロール隊による登下校の見守り活動との連携
- ⑤子ども 110 番見守りとの連携

(3) 買い物や移動支援への取組みの実施

- ①外出支援に関する取組み
- ②ケアネット活動による買い物代行支援・221 件
- ③注文販売に関する取組み
高齢者支え合い買い物支援事業(白萩南部地区)
毎週火曜日午後実施(48回 延べ209人利用)
- ④行動援護事業の実施検討

3. 「地域福祉を推進するためのネットワークの強化」

(1) 専門職との連携

①福祉専門職及び専門機関による連携強化

地域ケア会議と連携
町認知症高齢者等見守りネットワーク会議と連携
「認知症サポーター養成講座」(上市中央小学校)に協力
「上市町高齢者虐待防止ネットワーク事業」と連携
滑川・中新川障害者自立支援協議会との連携
地域精神保健福祉推進協議会との連携
地域生活福祉・就労支援協議会との連携

(2) 障害者との共生ネットワーク

①障害者福祉関係者連絡会の開催

②障害者生きがい事業の支援

- ・障害者とのふれあい事業
- ・障害者生きがいづくり事業(共同募金助成金事業) NPO法人ワークハウス劔
- ・おもちゃの図書館事業(本館—上市児童館・分館—相ノ木こどもふれあい館内)

③日常生活自立支援事業の実施

認知症高齢者・知的障害者・精神障害者等の判断能力が不十分な方が、権利を侵害されることなく、安心して生活を送れるよう、福祉サービスの利用援助等を実施。

- ・相談支援件数 715件
- ・福祉サービス利用援助・日常的金銭管理サービス 契約件数 12 件
利用者内訳(認知症高齢者等 3 人、知的障害者等 2 人、精神障害者等 7 人)
(生活保護受給者 1 人、非課税者 10 人、課税者 1 人)
- ・書類等預かりサービス 契約件数 8 件
- ・生活支援員の設置 13 人

(3) 社会福祉協議会活動基盤強化

① 社会福祉大会や広報誌の発行、ホームページの充実による社協活動周知の徹底

○ 第45回町社会福祉大会の開催

5月25日 大会実行委員会・17人

7月6日 表彰、金婚のお祝い、大会決議、基調講演・317人

・ 上市町社協会長表彰（敬称略）

社会福祉事業関係者の部 高島京子、橋本美年子、平井忠良

社会福祉事業協助者の部 北島昭子、酒井みわ子、谷川恵美子、林清代美

・ 上市町善意銀行理事長感謝状

柴田昭、平井和恵

大会決議 地域活動や支えあい活動に参加できる機会の充実をめざした「ひと（組織）づくり」の推進。制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超越して地域の多様な主体が『我が事』として参画し地域をともに創っていく「地域共生社会」をめざすことを採択しました。

基調講演 演題 「みんなが資源×みんなで支援の地域づくり～こども食堂という新たなカタチ」

講師 富山国際大学 子ども育成学部 教授 村上 満 氏

○ 広報誌の発行（共同募金助成金事業）

広報誌 “上市ふくしNOW”を発行し情報を発信 6月、7月、9月、12月、1月、3月

全戸配布（7,585世帯 平成31年3月31日現在）

○ 町社協ホームページでの福祉情報の提供 <https://www.kamiichi-hearty.jp/>

② 理事会・評議員会の活性化

監 査 6月1日

理 事 会 4回 6月8日・6人、6月25日・5人、12月11日・8人、3月25日・8人

定時評議員会 6月25日・7人、評議員会2回 12月11日・8人、3月25日・7人

③ 研修会の参加及び資格取得の促進

社会福祉士 6人

介護福祉士 16人

看護師 1人

介護支援専門員 4人

介護支援専門員実務者研修受講資格者 7人

ホームヘルパー2級 3人

④ 地域福祉活動への参画促進

（職員リーダーミーティングを12回開催し事業運営について協議）

⑤ 福祉サービス苦情相談解決窓口の設置

⑥ 第三者委員会

福祉サービス苦情相談解決窓口の設置及び苦情の受付、対応（苦情 3件）

1月25日 第三者委員会の開催・第三者委員 3人

⑦ 地域協議会設立検討

上市町社会福祉法人連絡会の設立に向け調査研究。

